

「知識インフラ」構築に向けて

国立国会図書館
利用者サービス部
科学技術・経済課長
川鍋 道子

2

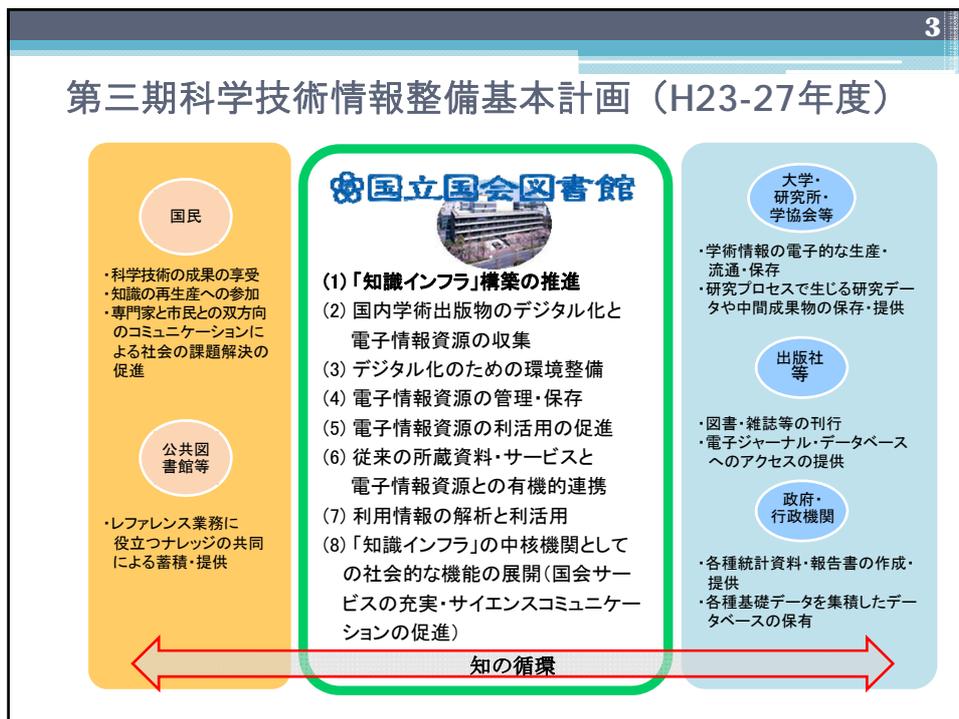
私たちの使命・目標2012-2016

• 私たちの使命

国立国会図書館は、出版物を中心に国内外の資料・情報を広く収集し、保存して、知識・文化の基盤となり、国会の活動を補佐するとともに、行政・司法及び国民に図書館サービスを提供することを通じ、国民の創造的な活動に貢献し、民主主義の発展に寄与します。

• 関連する目標

- 目標2：収集・保存
 - ・ 納本制度を一層充実させて、国内出版物の網羅的収集に努めるとともに、印刷出版物にとどまらず、電子的に流通する情報を含め、様々な資料・情報を文化的資産として収集し、保存します。
- 目標3：情報アクセス
 - ・ 国立国会図書館の収集資料を簡便に利用し、また必要な情報に迅速かつ的確にアクセスできるように、新しい情報環境に対応して、資料のデジタル化、探索手段の向上など、誰もが利用しやすい環境・手段を整備します。
- 目標5：東日本大震災アーカイブ
 - ・ 未曾有の災害の記録・教訓を後世に確実に伝えるための東日本大震災アーカイブを構築します



4

本日のシンポジウムの構成

【講演】研究データをめぐる国際動向
 情報通信研究機構統合データシステム研究開発室長・京都大学生存圏研究所客員教授 村山泰啓氏

【基調講演】ドイツ国立科学技術図書館の戦略：研究データの保存と共有
 ドイツ国立科学技術図書館・ハノーファー大学図書館 研究開発部門長 ペーター・レーヴェ氏

<休憩>

【事例報告】
農業研究におけるデータ共有の実態
 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター情報利用研究領域 上席研究員 木浦卓治氏

SSJ(Social Science Japan)データアーカイブにおけるデータの保存と普及
 東京大学大学院情報学環教授〔社会科学研究所兼務〕佐藤博樹氏

【鼎談】研究データ・マネージメントの将来像：図書館ができること
 国立情報学研究所長・東京大学生産技術研究所教授 喜連川優氏、
 レーヴェ氏、村山氏：モデレータ

<休憩（質問受付）>

【まとめ・質疑応答】